

イチジク



主な加害種：カラス、ヒヨドリ、ハクビシン

イチジクは鳥では、カラス、ヒヨドリ、獣では、ハクビシンに主に食害される。ヒヨドリは食害痕が残ることが多いが、カラスは果実をもぎ取って持ち去ることが多い。ハクビシンでは吐き出した果皮が落ちていることが多い。



加害種：ヒヨドリ

ヒヨドリが食害しているのを観察した後に撮影した。果皮を破って中味を食べている。

撮影：山口



加害種：ハクビシン

表面にある歯形がハクビシンの頭骨標本の歯と一致した。

撮影：山口、佐伯





加害種: ハシブトガラス

食痕が付いた果実をもぎ取って撮影した。軸に近い位置に上下のくちばしで果実を挟んだ形の傷があり、果実の先端近くには浅く削ぎ落とされた形の傷がある。

撮影: 吉田



加害種: ハシブトガラス

切株の上で果実を食べているのを観察した後に撮影した。果皮は2つにちぎられており、下写真はその一方を拡大して撮影したもの。獣の食痕とまぎらわしいが、果肉にくちばしの痕があり、果皮の状態もハクビシンのように噛んでから吐き出したものとは異なる。

撮影: 吉田





加害種:カラス

枝に付いている果実に食痕があった。果皮のV字型の切り裂きが太く、ハシブトガラスが大きな嘴でついばんだ痕と思われる。果実の上面が食べられており、枝に止まって突いて食べたと考えられる。

撮影:佐伯



加害種:カラス

イチジクの木の下に食痕の付いた果実が落ちていた。果皮に嘴でついばんだ痕がみられる。

撮影:佐伯



加害種:カラス

イチジクの木の下に食痕の付いた果実が落ちていた。実を裂いて、内側から食べたと思われる。果肉に嘴で突いた痕がみられる。

撮影:佐伯



加害種:カラス

イチジクの木の下付近の切株上に、食べられた後の果皮だけがあった。カラスは果皮を食べずに残すことがある。果肉に嘴の痕があり、果皮の状態もハクビシンのように噛んでから吐き出したものとは異なる。

撮影:佐伯



NAROchannel <https://youtu.be/Ey2DPXZhSkw>
で動画を見ることができます。

加害種: ハシブトガラス

農研機構内で栽培していたイチジクをカラス(ハシブトガラス)が食べるところ。イチジクの枝に止まり、熟した実を嘴で切り裂いて、くわえて飛び去った。残った実にはV字型の切り裂きが見える。

3時間22分後、同一と思われる個体が再び同じ経路でイチジクに近づき、残った実を同じように嘴で切り裂き、くわえて飛び去った。

なお、この場所では防鳥網やテグスは設置していなかった。

撮影: 佐伯



NAROchannel <https://youtu.be/89AEojeDJqw>
で動画を見ることができます。

加害種: ハシブトガラス

農研機構内で栽培していたイチジクをカラス(ハシブトガラス)が食べるところ。

地上から約60cmの枝に複数ついていた実のうち、熟した実を選び、その軸をめがけて地上からジャンプを4回繰り返して嘴で突き、実を地面に落とした。このあと、実を持ち去ったと思われる。

なお、この場所では防鳥網やテグスは設置していなかった。

撮影: 佐伯



NAROchannel <https://youtu.be/W-FEd5SuX8s>
で動画を見ることができます。

加害種: ハクビシン

農研機構内で栽培していたイチジクをハクビシンが食べる様子。動画冒頭では、低い位置にある果実を地上から食べている。1分間の動画撮影時間中に、約1個のイチジクを食べた。栽培果実は、野生動物にとって非常にエネルギー獲得効率の高い餌となる。

撮影: 小坂井、佐伯